

## 新春セミナー・行政講演・賀詞交歓会

本年1月31日にメルパーク東京にて、国土交通省 大井裕子様にご講演をお願いし、新春セミナーが開催されました。新春セミナーの後は、多数の来賓・会員ご参加による交流促進を図って頂く場となる賀詞交歓会が開催されました。

### 新春セミナー

#### 野崎正和会長より開講挨拶

平成には大震災、西は淡路大震災、東は東北の震災と津波、北海道の震災と様々な災害があり、復旧工事では日本トンネル協会の皆様が活躍されていたと思います。振り返りますと平成の初めの頃にはトンネルの本数は約500本、専門業者は150社から200社ぐらいありました。現在はトンネルの数は全国で350本程度、そして専門業者は年間通して仕事をしている会社は30数社で90%ぐらいは協会に加入していますが、覆工を専門でやっている業者をいれても40数社くらいと、私は大変危機を感じております。技能員に関しては当時は3万人ぐらいいましたが、今は8千人～9千人くらいとかなりのトンネル技能員が減っています。1つのトンネルに昭和50年代頃は100人から200人くらい従事していたと思います。今は40人から50人くらいでスタンダードのトンネルですが、それだけ生産性が厳しい産業になっております。

そして、ただでさえ人手不足で苦勞してる中、追い打ちをかけるように働き方改革、週休2日制、キャリアアップシステム、有給休暇の付与と、会社経営にとって非常に厳しい法案ができ、まったなしで4月1日から施行されます。様々な面で技能員の人達に対する改善は進んでいますが、我々経営側にはかなりの経費が掛かってきます。特に有給休暇は基本的に日給月給のシステムを採用している我々専門業者にとってはかなりの高いハードルです。4週8休105日の休みも歩掛的にはかなり我々の経営を圧迫するのは目に見えています。今の現状は、技能員、ゼネコンが良い思いをして我々経営者側には大変厳しいというものです。行政と意見交換会を行い我々の実状と、特に歩掛的な問題を相談していきます。



### 行政講演



#### 「国土交通省における最近の建設産業政策について」

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課 専門工事業・建設関連業振興室長  
大井 裕子 様

始めに“建設業を取巻く現状について”解説があり、引き続き“働き方改革について”政府としての働き方改革及び国土交通省としての働き方改革に区分の上、詳細を解説されました。その後、会員企業にとって関心の高い“建設工事における安全衛生経費の確保”及び“建設キャリアアップシステム”に関する説明があり、最後にタイムリーな話題として“新たな外国人材の受入れ制度”についても概要説明をされました。

なお、質疑応答では、建設キャリアアップシステムにおいて今後必要となる能力評価基準の設定及び処遇改善に関する対応策について質問があり、現段階における考え方及び今後検討すべき事項について回答して頂きました。

## 賀詞交歓会

※お役職は1月31日現在です

### 国土交通省 大臣官房 技術審議官 五道 仁実 様



昨年は全国で多くの災害が起り、政府におきましても重要インフラの点検をして、本年7兆円といわれている防災減災、国土強靱化のための3ヶ年緊急対策が取りまとめられたところです。又、国会で審議されていますが、本年の2次補正ということで国土交通省では、公共事業管理費、国有ベースで約8千3百億、又、来年度の当初予算では臨時特別措置を含めまして5兆9千億を超える、そのような予算が計上されているところです。国土交通省におきましては引き続き国土の防災減災に関しまして、しっかり仕事を進めてまいります。

生産性革命ということで国土交通では、今年4年目となりますが、今年度生産性革命の完結の年ということで、しっかり進めていくつもりです。トンネルの施工におきましては、AIをはじめとさまざまな新技術が使われていて生産性向上技術の活用という面ではトップランで走っている現場であると思っております。

働き方改革に関しては週休2日ということで進めておりますが、トンネルの工事での実状を踏まえ、どのような休み方が一番生産性の高い形になるのか、引き続き皆様方と議論させていただければと思います。

### 厚生労働省 労働基準局 化学物質対策課 環境改善室長 西田 和史 様



トンネルの安全衛生対策として、切羽における安全対策とか、粉じん防止対策あるいは労働者の健康管理対策などを行っております。トンネル工事の切羽付近の粉じん濃度の測定に関しては、一昨年から実質的な検討会を立ち上げ、野崎会長様にも検討会のメンバーに加わって頂き、いろいろご意見を頂いております。粉じん濃度測定等も精度の向上等技術の選択も広まっており、昨年度5現場程調査しまして、様々な測定方法で切羽付近の測定を検取し、現場で円滑に実施できるような測定技術等についての議論を今後も行っていくつもりです。

又、ずい道等建設労働者の長期的健康管理のため、健康管理施設協会 建災防の協力を得ながら、システムの構築を進めており、昨年3月からデータの収集、入力を開始しました。この検討会にも貴協会からも参加して頂いており、あらためてお礼申し上げます。

昨年4月から第9次粉じん障害総合防止対策が始まっておりますが、適正な呼吸用保護具の着用にご協力をお願いします。さらに山岳トンネル工事の切羽における肌落ち防止対策にかかるガイドラインについて、昨年1月に改正されました。切羽監視責任者など改正に基づく労働災害防止対策を推進して頂くようよろしくお願いします。

### 一般財団法人 建設業振興基金 理事長 佐々木 基 様



長野県にあるトンネルでたぶん全国的に一番インフラ的なトンネルが安房トンネルだと思います。これは長野オリンピック直前に出来上がり、劇的に交通量、交通を変えた画期的なトンネルだとその時はみんな思っておりました。安房峠はご案内の通り北アルプスを挟んで、岐阜県と長野県の間にある峠でとにかく観光シーズンになりますと、長い時は8時間ぐらいトンネルを越えるのに時間がかかります。もちろん当時は積雪があるので閉鎖になってしまいます。そういう状態のところを今はどうかといいますと、ただか5kmちょっとのトンネルですので5分で通過してしまいます。これはほんとうにトンネルによってまざまざと見せつけられた現状と思っております。しかし、今、このトンネルを通る人達はかつてそこは非常に難儀な峠だということを感じていません。皆さんの記憶から失われているのは仕方のないことですが、水蒸気爆発で4名の方が立ったままの状態で即死という非常に悲しい事故があったのです。建設現場でどんなに注意してもそういう事故は起こり得るし、それによってもたらされる原因は非常に大きな代償だといえると思います。ただそこで働いていた人達、働いている人達は、どんなに一生懸命働いても生死に関わらずほとんどの人達は記憶から消えてしまいます。

我々がやろうとしているキャリアアップというのは、記憶から消えていく職長の方々をデータという記憶に残していくことなのです。おそらく本質の分からない方が沢山いらして、なんとなく面倒くさく、何の意味があるのかとおっしゃる方が多いと思います。しかし、キャリアアップの本質は一生懸命仕事をして世の中的にも日があたらず、自分達のやってきたことが周囲の記憶から消えていってしまう職長の方々を記憶に残していこうということなのだご理解願います。



### 賀詞交歓会

多数のご来賓の方々及び全国から参集された会員の皆様には、互いに新年の挨拶を交わし合い、交流を深めて頂きました。

## 施工系会員意見交換

新春セミナーに先立ち、厚生労働省 八木健一様、建設業労働災害防止協会 中村英一様を囲み、施工系会員意見交換会が開催されました。



### 《議 題》

- 1) 「ずい道等建設労働者健康情報管理システム」について  
厚生労働省 安全衛生部 労働衛生課 主任中央労働衛生専門官 八木健一様  
建設業労働災害防止協会 総務部 業務課長 中村英一様
- 2) 「働き方改革で法制化された有給休暇年間5日付与」について
- 3) 「建設業における特定技能外国人受入れ制度」について
- 4) 「女性の坑内作業進出に関するアンケート」集計結果について
- 5) その他

## 合同現場安全パトロール

2月5日に北新建設(株)が施工中の北海道新幹線内浦トンネル(幌内)工事にて合同安全パトロールが行われました。

真冬に北海道での現場パトロールということで、非常に寒かったことが印象的であったようです。実施結果は全体的に良く管理されており、作業員とのコミュニケーションも良好で、作業環境が厳しい中、各自がそれぞれの役割を理解して作業が進められていました。また、マスク保管庫が設置されており、衛生面でも良好な状態となっていました。ただ、雪が多いことがら、ジャンボの通路の整理整頓及び長い栈橋の通行に際しスリップに注意していただくようお願いされました。

### 工事概要

- ① 発注者: 鉄道運輸機構道新幹線建設局
- ② 工期: H30.10~H36.9
- ③ 延長: 5,025 m
- ④ 元 請: 佐藤工業・みらい建設工業・草別組  
田端本堂カンパニー JV 所長 廣瀬康人様
- ⑤ 施 工: 北新建設株式会社 所長 吉野智将様



【朝礼状況】



【坑口資格表示看板】



【マスク保管箱】



【構台】

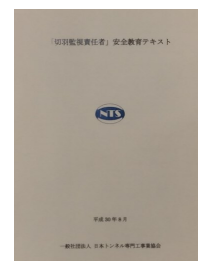
## 平成30年度 委員会活動成果報告

各委員会の活動報告を冊子にまとめました。尚、詳しい報告は秋季セミナーにて行う予定です。

### ○ 労務安全衛生委員会

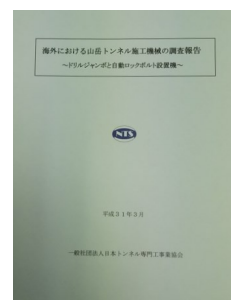
平成22年より調査してきた労働災害事例を再度精査・分析の上「トンネル工事における労働災害事例(79件)とその対策」に取り纏め、会員企業の全事業場に配布しました。

また、肌落ちガイドラインの対応策として「切羽監視責任者」安全教育テキストを作成し、会員企業の全事業場に配布しました。



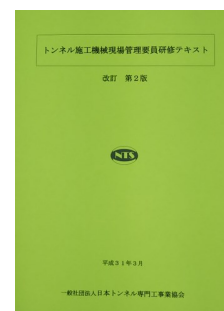
### ○ 技術・情報委員会

海外(特に北欧)における山岳トンネル施工機械の最新技術を調査し「海外における山岳トンネル施工機械の調査報告書～ドリルジャンボと自動ロックボルト設置機～」に取り纏めi-Constructionの推進に資する報告書を作成しました。



### ○ 施工環境委員会

環境新基準対応のトンネル施工機械に関する諸データや取扱い説明書を収集の上、機械管理手法の再編集を行うと共に、クラッシャ、ベルトコンヤ等の新機種項目も追加し、平成25年3月に作成した「トンネル施工機械現場管理要員研修テキスト」の大幅改訂を実施しました。



## 登録トンネル基幹技能者講習



2月9日に開催された更新講習(福岡会場)で28名、3月9日に開催された臨時更新講習で1名の方が修了証の更新をされました。

## 協会からのお知らせ【今後の予定】

- |                                    |               |
|------------------------------------|---------------|
| ・令和元年度第1回登録トンネル基幹技能者更新講習(東京)       | 令和元年6月1日      |
| ・令和元年度第1回登録トンネル基幹技能者講習(富士教育訓練センター) | 令和元年7月11日～14日 |
| ・令和元年度秋季セミナー・懇親会                   | 令和元年9月13日     |

この会報に対するご意見・ご感想、又ご入会に関する詳しいお問合せは下記の事務局までお願いします。



一般社団法人 Association of Nihon Tunnel Construction Sub-contractors  
**日本トンネル専門工事業協会**

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-1 ブロードリー西新橋9階

TEL:03-5251-4150 FAX:03-3591-3550 URL : <http://www.tunnel.jp>